

令和5年度実施計画案及び評価について

資料4-1

1 後期高齢者を対象とした事業実施計画

(1) 個別的支援

健診結果や通いの場で実施した質問票の結果から、国の基準に基づき抽出し、優先順位の高い者に対し健康課の医療専門職より個別支援を実施。

① 健診結果

| | 抽出条件 | 対象想定数（人） ^{※1} | | | |
|---------------------|---|------------------------|-----|-----|-----|
| | | 花見川区 | 若葉区 | 稲毛区 | 美浜区 |
| 栄養 （低栄養 防止事業） | 「BMI 18.5未満」で、下記に該当する方 ・ 75歳 … 1年で3kg以上減少 ・ 76歳以上…半年で2～3kg以上減少 ・ 「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りがある | 24 | 21 | 22 | 20 |
| 口腔 | 「固いものが食べにくい」又は「むせる」方のうち、下記に該当する方 ・ 過去1年間歯科受診なし ・ 「BMI 20以下」かつ「半年で2～3kg以上減少」 | 19 | 16 | 22 | 23 |
| 運動機能 | 低栄養が疑われる ^{※1} 方または過体重の方 ^{※2} のうち、下記に該当する方 ・ 「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」 又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態がよくない」 ・ 「心の健康」「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りがある ○ 「BMI 20以下」で「半年で体重2～3kg以上減少」 ○ 「BMI 25以上」 | 81 | 73 | 49 | 80 |

※1 令和4年度対象者数

② 通いの場

| | 抽出条件 | 対象想定数（人） ^{※2} | | | |
|------|--|------------------------|-----|-----|-----|
| | | 花見川区 | 若葉区 | 稲毛区 | 美浜区 |
| 栄養 | 「BMI 20以下」で「半年で2～3kg以上減少」した方 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| 口腔 | 「固いものが食べにくい」又は「むせる」方のうち、過去1年間歯科受診のない方 | 74 | 74 | 74 | 74 |
| 運動機能 | 「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」の方 又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態がよくない」方 | 108 | 108 | 108 | 108 |

※2 令和4年度実施区支援対象者数

③ 健康状態不明者

| 抽出条件 | 対象想定数(人) ※3 | |
|--|-------------|-----|
| | 花見川区 | 若葉区 |
| 令和3年4月～令和4年12月において下記に該当し、令和4年度末年齢(76、80、85、90、95歳)の方 ・健診受診なし ・レセプト(入院・外来・歯科)履歴なし ・要介護認定なし | 123 | 111 |

※3 令和2～3年度該当数

(2) 低栄養防止事業

健診結果で低栄養が疑われる者に介護予防事業の案内、基本チェックリストを送り、基本チェックリストの結果、支援が必要な方をあんしんケアセンターの支援につなぐ。

| 抽出条件 | 低栄養が疑われる者(人) ※4 |
|---|-----------------|
| | 中央区 緑区 |
| 「BMI18.5未満」で、下記に該当する方 ・75歳 …「1年で3kg以上減少」した方 ・76歳以上…「半年で2～3kg以上減少」した方のうち、「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りのある方 | 25 |

※4 令和4年度対象者数

(3) 介護予防教育の案内

健診結果から国の基準に基づきフレイルが疑われる方を抽出し、個別的支援の実施区は個別的支援対象者ほどにはフレイルの状態が進んでいない方に対し、フレイル予防に関するリーフレットと講座の案内を送付。

| | 抽出条件 | 対象想定数(人) ※5 |
|------|--|-------------|
| | | 全区 |
| 栄養 | 「BMI20以下」で、「半年で2～3kg以上減少」した方 | 597 |
| 口腔 | 「固いものが食べにくい」又は「むせる」方のうち、過去1年間歯科受診のない方 | 3,664 |
| 運動機能 | 「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」の方 又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態がよくない」方 | 3,676 |

※5 令和4年度対象者数

(4) 通いの場等への関与

- ①フレイル予防の普及啓発
- ④ 通いの場の参加者の状態把握

2 事業実施における目標・指標

(1) 目標

健康寿命の延伸
在宅で自立した生活が送れる高齢者の増加

(2) 評価

①共通する評価

| 評価指標 | 内 容 |
|-----------|---|
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none">・ KDB の分析ができたか。・ 実施に必要な予算が確保できたか。・ 必要な人員が確保できたか。(予算計上の数と実際に雇用できた人数)・ 関係機関(あんしんケアセンター・健康課等)との連携が取れたか。・ 医師会・歯科医師会・薬剤師会等との連携が取れたか。 |
| プロセス評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 対象者の抽出を行うことができたか。・ 個別支援(訪問・電話等)が円滑に実施できたか。・ 必要に応じ受診勧奨ができたか。 |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 個別支援対象者への実施件数・ 対象者が設定した目標の達成状況・ 医療機関につながった割合・医療機関につながった割合・ 関係機関(あんしんケアセンター・健康課等)につながった件数 |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 質問票の主観的健康感の改善割合 |

② 個別的支援

| 項 目 | 栄 養 |
|----------|--|
| 目 標 | 低栄養になった原因を把握し本人が目標を設定する。 目標に向けた支援を行い、低栄養の状態を改善し介護予防・QOL 向上を目指す。 |
| 実施方法 | 別紙プログラムのとおり |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 食事・栄養に関する質問票(1日3食、主食・主菜・副菜、10種類の食品の摂取)の前後の変化・ 介護予防事業(食事セミナー等)につながった件数 |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 体重が維持・改善できた者の割合・ 質問票3(3食)、6(体重減少)に該当しなくなった者の割合 |

| 項 目 | 口 腔 |
|----------|---|
| 目 標 | 口腔機能を改善し、オーラルフレイル予防を目指す。 |
| 実施方法 | 別紙プログラムのとおり |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルディアドコキネシス（巧緻性・構音の評価）の前後の変化 ・咀嚼力判定ガムの色の前後の変化 ・オーラルフレイルチェックの前後の変化 ・介護予防事業（歯っぴー健口教室、口腔ケア事業等）につながった件数 |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルディアドコキネシス（巧緻性・構音の評価）、咀嚼力判定ガムの色、オーラルフレイルチェックの改善がみられた者の割合 ・質問票4（咀嚼機能）、5（嚥下機能）に該当しなくなった者の割合 |

| 項 目 | 運動機能 |
|----------|---|
| 目 標 | フレイルリスクのある者を早期に発見し、転倒予防や要支援要介護状態を予防する。 |
| 実施方法 | 別紙プログラムのとおり |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場へつながった件数 ・社会資源（通いの場以外）へつながった件数・社会資源（通いの場以外）へつながった件数 |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問票1（健康状態）、7（歩行速度）、8（転倒）に該当しなくなった者の割合 |

| 項 目 | 健康状態不明者 |
|----------|---|
| 目 標 | 健康状態不明者に対してアウトリーチ支援等を行い、健康相談、適切なサービスへの接続等により、健康の保持増進を目指す。 |
| 実施方法 | 別紙プログラムのとおり |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握ができた者（支援人数・回数・割合） ・支援を要した者（支援人数・回数・割合） ・サービス別の紹介件数 |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・短期：医療、介護サービスへつながった者の割合（健診受診・医療受診） ・長期：健康状態不明者の減少、健診受診率の上昇 |

③ 低栄養防止事業

| 項目 | 内容 |
|----------|---|
| 目標 | 食生活を見直すことで、フレイル予防を目指す。 |
| 実施方法 | あんしんケアセンターの職員が訪問し、生活状況や食事の様子を確認し必要な方に各区健康課（介護予防相談・介護予防教育等）を案内する。 |
| アウトプット評価 | ・健康課を案内した件数 ・介護予防事業（栄養相談、食事セミナー等）につながった件数 |
| アウトカム評価 | 「BMI 18.5未満」で、 75歳 …「1年で3kg以上減少」した方 76歳以上…「半年で2～3kg以上減少」した方のうち、「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りのある方に該当しなくなった者の割合 |

④ 介護予防教育の案内

| 項目 | 内容 |
|----------|--|
| 目標 | フレイルリスクのある者を早期に発見し、転倒予防や要支援要介護状態を予防する。 |
| 実施方法 | 対象者に健康課が実施する介護予防教育（食事セミナー、歯っぴー健口教室、講演会等）の案内と栄養・口腔・運動機能それぞれのリーフレットを郵送 |
| アウトプット評価 | ・発送数 ・参加者数 |
| アウトカム評価 | ・「BMI 20以下」で、「半年で2～3kg以上減少」 ・「固いものが食べにくい」又は「むせる」の方のうち、過去1年間歯科受診がない ・「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態がよくない」 に該当しなくなった者の割合 |

⑤ 通いの場等への関与

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 目標 | フレイル予防の普及啓発・高齢者質問票の活用や計測により、フレイル予防の必要性を自分事としてとらえ、日々の生活習慣の改善に活かすことにより介護予防・健康寿命の延伸を図る。出張相談やイベントなどにより、無関心層にもアプローチすることにより、健康意識の変化のきっかけとする。 |
| ストラクチャー評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場運営者や関係者・関係機関との情報共有等連携・協力が図れたか ・ 通いの場への支援数は十分であったか |
| プロセス評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知内容・方法は適切か ・ プログラム・教材内容は目標を達成するのに適切か（アンケート） ・ 運営者・リーダーのモチベーションを高めることができたか（アンケート） ・ 関係者との情報共有はできたか（実施前後の打合せ等） |
| アウトプット評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康教育実施数、参加者数 ・ 健康相談実施数、参加者数 ・ 質問票、体力測定実施数 ・ 連携団体数 ・ 継続支援者数（個別的支援、関係機関等につながった件数） |
| アウトカム評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場への高齢者の参加人数の維持増加 |